米国 国際法違反の侵略

ベネズエラ攻撃し大統領拉致

米国は現地時間3日未明、南米ベネズエラの首都カラカスに軍事侵攻してマドゥロ大統領を拘束し、米国に拉致しました。トランプ米大統領は同日の記者会見で「安全、適切、賢明な（政権）移行ができるまで」米国がベネズエラを「運営（統治）する」と発言し、世界に衝撃が走っています。5日開催の国連安全保障理事会では米国による軍事攻撃を「国際法違反の侵略だ」だと批判する声が相次ぎました。

米国がベネズエラ侵攻の主な理由に挙げているのは、マドゥロ氏が「米国への大量の違法薬物密輸を担う広範な犯罪ネットワークの首謀者」だからというものです。しかしベネズエラは米国への主要麻薬輸出国ではありません。そもそも、いかなる理由であれ、米国の言いなりにならない国の大統領を拉致する行為は、国連憲章違反の侵略以外の何物でもありません。

●ベネズエラ…面積91万平方キロメートル（日本の2.4倍）、人口2600万人

侵攻の大きな狙いの一つが埋蔵量世界一のベネズエラの石油資源の支配にあることは、トランプ氏が記者会見で表明しました。

米国の石油企業は100年前からベネズエラの石油産業の主要な担い手となり、同国は南米有数の米同盟国でした。しかしベネズエラ政府は1975年に石油産業国有化を決定。米国の石油企業で今も残るのはシェブロン社だけです。ベネズエラの重質油はアスファルト製造や燃料用に向いているとされます。

トランプ氏は▽カナダを米国の51番目の州にする▽メキシコ湾を「アメリカ湾」と呼ぶ▽パナマ運河を取り戻す▽グリーンランドを保有する―など覇権主義的言動を繰り返し、今回は大規模軍事攻撃で政権転覆に踏み込みました。その後も同氏はコロンビアやメキシコ、キューバの対米自主政権、デンマーク（グリーンランド）への軍事的威嚇を強めています。

一連の行動の背景にあるのは西半球（北米、中南米など）を「われわれ自身の半球」（トランプ氏、3日）とみなす勢力圏思想です。これは昨年末発表の「国家安全保障戦略」で明言されました。同戦略は、不干渉主義を掲げた米独立宣言も無視し、「正当化しうる干渉」は強行すると公言しています。これは米国が大きな役割を果たしてできた国連憲章に完全に違反します。

米国が国際法違反の侵略を繰り返せば、他国の「力による現状変更」に反対する根拠を失います。今回の侵攻には、自民党の小野寺五典・税制調査会長（元防衛相）も、『力による現状変更』そのもので、中露を非難する論拠に矛盾します」と指摘しました（4日、X投稿）。米国の無法に抗議しない高市早苗首相の姿勢が問われます。

坂口明記者

ホワイトハウス前で「石油のために血を流すな」などのプラカードを掲げて、トランプ政権によるベネズエラ攻撃に抗議する人々＝3日、ワシントン（柴田菜央記者撮影）

「家族にむち打つ流行語」

過労自殺遺族憤り

「働いて働いて働いて」

今年の「新語・流行語大賞」で、高市早苗首相の「働いて働いて働いて働いて働いてまいります」という発言が年間大賞に選ばれたことを受け、過労自殺の遺族らが11日、東京都内で記者会見を開きました。「こんな言葉が独り歩きしては過労死はなくならない」と懸念を示しました。

今年の年間大賞は高市氏が自民党の新総裁に選ばれた時の言葉。同党議員に対し「全員に馬車馬のように働いてもらう。私自身もワーク・ライフ・バランスという言葉を捨てる」という発言もしました。

医師の夫を過労自殺で亡くした中原のり子さんは「流行語大賞受賞には耳を疑った。家族にむち打つような行為だ」と憤りをあらわにしました。「働いてワーク・ライフ・バランスを捨てるというのは社会的に最もふさわしくない言葉だ。（高市氏は）影響力の大きい方なので言葉を選んでほしい」と力を込めました。

この紙面は「しんぶん赤旗」の切り抜き記事です。他の新聞にはないスクープ満載です是非ご購読ください。

トランプ出て行け ブラジルなどで抗議デモ

ブラジル各地で5日、米国によるベネズエラ侵略に抗議するデモが一斉に行われました。現地メディアによると、デモは農地改革を求める「土地なし農民運動」（MST）などさまざまな団体が共同で呼びかけたもの。

首都ブラジリアや最大都市サンパウロでは、「トランプはベネズエラから出て行け」などと書かれたプラカードを掲げた参加者が大通りを行進。米国の大使館や総領事館前でこぶしを振り上げて抗議の意思を示しました。

サンパウロの集会で発言したMSTのジルマル・マウロ調整書記は、トランプ米大統領の狙いが、中南米を自国の「裏庭」に変え、ベネズエラの石油など各国の資源を奪い取ることだと指摘。「これはわれわれ中南米の人々の主権と尊厳に対する攻撃だ」と訴えました。

ロイター通信によると、アルゼンチンのブエノスアイレス、英国のロンドンなどでも5日、抗議行動が行われました。

いま『赤旗』がおもしろい 日本共産党